

JAMMA ASEAN市場動向調査 視察概要報告書

2013/11/07-11/11

シンガポール/マレーシア(クアラルンプール)

1. 実施概要

- ①日 時 平成25年11月7日(木) - 11日(月)、4泊5日
- ②行 程 添付行程表をご参照下さい
- ③参加者 梶修明団長(JAMMA副会長、SC施設事業部長)
内田慎一副団長(JAMMA理事)
神宮司憲人理事(AM事業部国際部会長)、片岡尚理事、今泉元秀理事
ほか計29名(別紙名簿参照)
- ④担 当 JAMMA SC施設事業部及びAM事業部・国際部会
- ⑤目 的 中間所得層が急速に拡大しているASEANのSC施設及びAM施設の現状を把握するとともに、今後日本への導入が期待されるカジノを中心とした統合型リゾート施設を視察すること。

2. 視察の内容

【11/8 10:00-10:30】

SGP 1) Vivo City - Time Zone

シンガポール、ハーバーフロントにあるSC「VIVO CITY」屋上に設置されたロケ。経営はエンベットのLAI社子会社のタイムゾーン社。エンベッドで運営。他の施設と比較すれば中規模のロケだが、タイムゾーン社のロケとしては最大規模。売上は順調。顧客年齢層の中心は45歳以上の中高年層とのこと。ビデオゲーム50%、リデンプション50%の割合で設置され、設置台数は100台程。リデンプションのポイント付与はエンベットのカードを介して行われていた。

【11/8 11:00-12:30】

SGP 2) ASEAN市場セミナー

オーストラリアLAIグループCEOのアダム・ステインバーグ氏による講演。講演の中心は会社紹介とASEAN市場動向の現状と予測。LAIグループのTime ZoneはASEAN及びオーストラリアで100店以上を展開。AM機器工場はインドネシアにあり、世界中に輸出。今後の市場予測としては、新興国は伸びるが、SNS、スマホが普及するに従い、伸び悩むことを予想している。

【11/8 13:30-14:15】

SGP 3) アキオモ - Zone X

シンガポールの住宅地、アキオモにあるSC「AKM HUB」に設置されたロケ。

経営はZone X レジャー社で非接触型のハウスカードで運営。

ビデオゲーム30%、リデンプション70%の割合で設置。

設置台数は約150台

リデンプションのポイント付与はハウスカードを介して行われていた。

【11/8 14:45-15:30】

SGP 4) オーチャード - Star Factory Plaza Singapura

シンガポールの繁華街、オーチャードにあるSC「Plaza Singapura」に設置されたロケ。

経営はTKA社でZone Xと同じハウスカードで運営。

ビデオゲーム50%、リデンプション50%の割合で設置

設置台数は約150台で若者向けの機種構成となっていた。

リデンプションのポイント付与はハウスカードを介して行われていた。

【11/8 15:45-16:15】

SGP 5) ブギス - Virtualand Bugis Junction

シンガポール地下鉄のターミナル駅があるブギスにある若者向け複合ビルの地下に設置されたロケ。経営はTKA社でZone Xと同じハウスカードで運営。

ビデオゲーム70%、リデンプション30%の割合で設置。設置台数は約200台でダンスゲームもにぎわいを見せていた。

インターネットカフェが併設されるなど、今回視察した施設では最も若者向けの施設だった。リデンプションのポイント付与はハウスカードを介して行われていた。

【11/8 16:30-18:00】

SGP 6) マリーナ地区 - サンズカジノ

シンガポールの埋め立て地に作られた統合型リゾート施設。カジノを中心にショッピング施設、ホテル、プール、映画館、ボウリング場などが集積していた。

【11/9 10:00-11:00】

SGP 7) マリーナ地区 Santec City シンガポール アニメフェア

電通が中心となって運営する「クールジャパン」を発信するイベント。

東京ゲームショウと同じく、日本の文化発信イベント「コ・フェスタ」の1つ。

会場は多くの日本文化ファンに埋め尽くされ、アニメ声優のコンサートやセガ、バンダイなど日本企業のブースが出展していた。

シンガポールの他、香港とマレーシアでもそれぞれ開催されている。

【11/9 16:00-17:30】

KL 1)Mid Valley イオンファンタジーAM施設

クアラルンプールでも有数の規模を誇るSC「Mid Valley」内の店舗を視察。
視察に先立ち、イオンファンタジー片岡社長によるマレーシアAM市場セミナーも開催された。
イオンファンタジーのAM施設「モーリーファンタジー」は、子ども用品売り場のあ
るフロアに設置されており、おもちゃ売り場の隣。幼児向けの機械が中心で構成され
ていた。150坪に80台が設置されていた。トークンで運営。

【11/10 10:00-11:15】

KL 2)One Utama イオンファンタジー、コーベイ他AM施設

クアラルンプールでも有数の規模を誇るSC「One Utama」内の3店舗を視察。
ファミリー向けの「モーリーファンタジー」(100台ほど設置)の他、若者向けの
コーベイ社(150台ほど設置)、アルファオリエントタル社の施設(100台ほど
設置)を視察した。

【11/10 13:00-15:30】

KL 3)Genting Highland カジノ、室内遊園地及びAM施設

マレーシアで唯一営業しているカジノを含む統合型リゾート施設。
当該施設の成り立ちや今後の展開についてレクチャーを受けた後、担当者に案内を
受けながら関係施設を順番に視察した。
カジノは、シンガポールに比べセキュリティも緩くカジュアルな営業が行われてい
た。そのためか、盛況で混雑していた。
屋外の遊園地は残念ながらリニューアルのため営業していなかったものの、カジノ以
外の娯楽施設、宿泊施設の規模は想像を超えるものであった。
AM施設は250台の規模とのこと。

【11/10 16:30-17:30】

KL 4)Times Square コーベイAM施設及び室内遊園地

若者向けのSC施設に設置された現地企業コーベイ社のロケーションを視察。週末と
言うこともあり、非常に賑わっていた。機械の設置台数は150台ほど。ハウス
カードで運営。
本来禁止されているはずのメダルゲームが運営されていたのが興味深かった。
すぐそばには別の現地企業が運営するAM施設があったが、こちらはほとんど客が
いない状況で運営内容による差別化も起きている様子がかいま見られた。
また、ビルのフロアを5階分ほど使った屋内遊園地が設置されており、興味深かった。
雨の多い地域性を反映したものなのだろうが、売り場の上をジェットコースターが通
過する様子には驚かされた。

※ これらの視察内容の写真を以下のURLにて閲覧いただくことができます。
ご確認下さい。

<https://picasaweb.google.com/108803850756256894966>

3. 考察

シンガポールはもちろんのこと、マレーシアにおいてもクアラルンプールでは想像以上に商業施設が集積しており、両国国民の消費意欲の高さに驚かされた。

シンガポールでは、明らかに日本より物価が高い印象を受けた。

娯楽施設も多様化しておりSC内のAM施設はボウリング場、映画館などと併設されるのが両国ともに一般的になっていると感じた。

AM施設では日本の新しい機械も設置されているものの、中国、台湾のメーカーがだいぶシェアを伸ばしている印象があった。日本の中古機も数多く運営されていた。

ただし、ドライブゲームなどは日本製は客待ちがあるのに中国製品は空いているなどの日本製品のアドバンテージを感じることも出来た。

ASEANの他の国におけるAM施設の状況も是非、調査をしたいところ。

4. 参加者のアンケートについて

今回の視察にご参加いただいた方にアンケート調査を実施した。

その結果は次ページの通り。